

令和6年賀詞交歓会報告

SSC賀詞交歓会部会の「企業発表」は、令和6年1月5日に開かれた「精華町商工会賀詞交歓会」で実施、商工会本会の理解によって組み込んでいただいた「タイムスケジュール」により、多くのご来賓と参加者の中で発表することができました。

SSCの活動紹介と合わせ、企業発表に対して、ご理解とご協力、お支えをいただきましたすべての皆様に対して、深く感謝申し上げます。

誠にありがとうございます。

その上で、部会協議とSSC全体確認の、経過と成果を次の通り報告します。

1. 発表事業者の選定

- (1) 発表事業者は、学研企業と地元企業からそれぞれ選定を目指す。
- (2) 発表事業者の選定にあたっては、アンケート(自薦・他薦)を実施する。
⇒ アンケート結果を踏まえ、学研企業から「株式会社dTosh」、地元企業から「まるよし建築」の2社に、発表を了承いただきました。

2. 発表内容について

- (1) 発表事業者は、まず、プレゼンの骨格(目的・発表の基本)を発表し全体で確認いただく(8月)
 - ① dTosh ⇒ 自己紹介、DXとの関りは、DXと自社の役割
 - ② まるよし建築 ⇒ 自己紹介、リフォームビフォー・アフター、価値創造
- (2) 確認された骨格をもとに、プレゼンテーション内容を発表者が作成し、11月完成目途で各月ブラッシュアップ
⇒ 骨格をもとに、全体会議でブラッシュアップができた。ただ、完成は12月の全体会議となった。

3. 賀詞交歓会での発表について

- (1) 賀詞交歓会での発表タイミングについて
来賓を含む多くの方がいる時間帯で発表したい——との部会意向を踏まえ、三役が商工会事務局と対応
⇒ 商工会本会の理解のもと設定されたタイムスケジュールにより、来賓などが退場されない時間帯で発表ができた。
⇒ 発表者から、多くの皆さんの前で発表できた事と、議員とつながりが持てたことに感謝の声有。
- (2) 発表三者の転換時間について
フロムデータの藤澤さんが、ボランティアとして、事前のデータ整備から本番投影・スライドショーまでの作業を担っていただき、転換時間と発表そのものがスムーズに実施できた。
⇒ 発表三者のデータ統合や修正、当日のリハーサルから本番へ。藤澤さんに頼っていることについて今後の課題とし、次年度へ引き継ぐ。



SSC富田会長



dTosh 平尾さん



まるよし建築 吉田さん

SSC賀詞交歓会企業プレゼンについて。

- (1) 能登半島大地震の発災という中での世情もあったが、「元気に発表」するとの観点で、「あけましておめでとうございます」と春の海のBGMは、予定通りとした。
- (2) 例年と違い、ご来賓をはじめ会場の人々が、ザワツクこともなく、しっかりステージに集中していただけたことで、発表内容を丁寧に伝えられる雰囲気が醸成されていたことは、大きな成果と考える。この継続、さらなる高みへ、次年度の協議に引き継ぎたい。
- (3) 一方、発表者のデータの突合・修正を誰がするのかをはじめ、発表の環境づくりあり様など、次年度への課題とする。